

行政視察報告書

令和 5年 11月 14日

長浜市議会議長

様

長浜市議会議員

村山さおり



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和 5年 11月 13日(月) ~ 14日(火)
3. 視察場所及び目的
 - ① 長野県辰野町・商店街活性化について
 - ② 千葉県多古町・子育て支援、移住促進について

4. 調査内容感想等
・視察の目的
長野県辰野町…多くの店が閉店している商店街をリノベーションし、若い移住者などが開業する『トビチ商店街』として活性化させた経緯や手法を学ぶ
千葉県辰野町…待機児童0、こども園・小中学校の待機児童0、大学生までの医療費0をはじめ、第三子以降100万円相当の祝い金等手厚い子育て支援について学ぶ

・視察の内容

長野県辰野町

長い商店街の中には、営業している店舗、住居としてだけ残っている店舗、完全に閉店している店舗とがあった。

その中に少し雰囲気の違いの違う店舗が点在している。

東京や長野県松本市で出店しているアパレル店舗やコーヒーショップや作家など。

『トビチ商店街』の名前のおり、広範囲にわたって店舗が加盟している。(既存の商店街も存続) 仕掛け人の赤羽氏に話を聞くと

・商店街の活性化=すべて開けることではない

・『トビチ商店街』は歩いてまわれる、イオンモールのように

HPの管理運営もされているが、有料会員は自身でHPの更新ができるそう。

商店街の活性化以外にも、空き家バンクもされていた。

その中で『さかさま不動産』というものがあり、借りてほしい物件だけでなく、借りたい人の情報も掲載しており、応援したい家主とのマッチングが成立する仕掛け。

人口減少の地域において、住民票を移してもらうことがすべてではなく、関係人口を増やすことが大切。受動的な100人より能動的な1人来てもらいたいという言葉が印象的だった。

千葉県多古町

町内にはこども園1園(定員410名、3つの保育園、4つの幼稚園が統合)、小中高校各1校の町。

人口、面積ともに長浜市の1/10ほどの規模の町ということもあり、財政的な子育て支援はやりやすいとのこと。

都心に行くバスに子育て支援のラッピングをしたりして、移住促進を行っている。

第一次産業が多く、兼業農家もあるが後継者不足が深刻。

町内の多古中央病院（公営）の敷地内に病児保育の施設を建設し、病院の医師、看護師が従事してくださっている。

子育て支援は充実してきたので、次の段階として親の教育として、妊娠期からいろんな情報を発信し、まわりに頼ってもらえる環境づくりに力を入れたいとのこと。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

長野県辰野町

商店街として市街地中心地はもちろんのことだが、移住促進として関係人口、能動的な人を増やすという点において共感した。

常に10年先こうなったらいいなというビジョンを持って取り組んでおられた。

そこに共感した協力者がさまざまな活動のサポーターになっておられた。

使命感や義務感ではなく、楽しいこと、やりたいことをやっているからこそその結果だ
と思う。このような仕掛け人はとても大切。今回のことを多く広め、官民連携で取り
組める事を探りたい。

千葉県多古町

子育て支援課長が以前こども園におられたということもあり（こども園でひとつの部署）、現場のことをよく知っておられると感じた。

子育てにしんどさを感じておられるお母さんたちを何とかしたいと言われていた。

そのためにも、核家族化が進んでいることもあり、家族に限らず頼れる仕組み作りをしたいと言われていた。それは長浜市にもあてはまること。

自ら情報を取りにいけない人にいかに情報を届けるか。

多古町はすべての家の訪問、会えない場合は何度も足を運ぶと言われていた。

当市での現状把握、保健師の訪問状況などを確認し、漏れがないよう当局にお願いしたい。